

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	商店街活性化	瀬谷区	令和5年～6年	瀬谷区地域振興課を事務局とした、商店街を横断した活性化体制「瀬谷区あきんど寄合」立ち上げを支援 ・商店街の現状分析 ・活性化イベント事例等のレクチャー ・ビジョン・アクションプラン作成支援 ・イベント企画・実施支援
	地域ニーズや課題に対応したまちづくり	東京都大田区 大岡山・千束地区	平成24年～	大田区認定の大岡山・千束地区まちづくり協議会の活動・運営支援 ・アンケート調査・地域資源の実態調査支援 ・地域資源マップの作成 ・まちづくり構想の策定 ・まちづくりガイドライン策定 ・各種地域活動の企画運営支援
	商店街・鉄道駅周辺地区の活性化	東京都大田区 大森駅周辺地区	平成25年～30年	大森再開発推進委員会の活動支援 ・勉強会の企画・実施 ・ワークショップ、ビジョン策定 ・地域の実態調査 ・まちづくり・エリアマネジメント勉強会実施 ・駅東西地区の接続性向上のためのスタディ
	地域の開発構想	東京都大田区 空港臨海部地区	平成21年～令和2年	臨海部の工業地帯・産業集積地区、羽田空港周辺地区の開発可能性の調査検討 ・土地利用の変遷と実態調査 ・地域の企業・活動主体に対する意識調査 ・地域開発のコンセプトプラン策定 ・シンポジウムの企画実施

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

住民や関係者が主体となり積極的に活動できる状況づくりをコーディネーターとして支援することが重要と考えています。その際、下記のような事項が大切です。

- ・まちづくりの中心となる主体は住民やそこで活動する関係者であり、その活動を伴走しながら支援。
- ・地域主体が、自らの地域の将来像を描くこと、その実現のための具体的な活動を展開することが重要ですが、そのために必要な活動（実態調査、ワークショップやアンケートによる意思確認、定常的な活動による意思決定）は専門性が必要であり、その点を積極的に支援。
- ・外から理念を押し付けるのではなく、地域自らの理念を掘り起こして明確化すること。
- ・地域の実態調査などエビデンスを明確化し、それに基づいて活動を立案すること。
- ・具体的なテーマを持った個別活動を適切に設定すること、複数の活動を連携させて展開すること。
- ・具体的な活動を通じて多様な主体を掘り起こし、活動への参画を誘導すること。住民はもちろん、企業やNPO等の団体、大学等の教育機関など、様々な属性の主体をつなぐこと。

必要に応じて資料をA4判1ページまで添付できます。